



TITLE:

東アジア諸国における大学入試改革の動向

AUTHOR(S):

南部, 広孝

CITATION:

南部, 広孝. 東アジア諸国における大学入試改革の動向. 大学入試のあり方を問う --国際比較を通して 2018: 1-14

ISSUE DATE:

2018-05-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/231904>

RIGHT:

日本教育学会 近畿地区 研究集会

「大学入試のあり方を問う——国際比較を通して」

日 時：2018年5月12日（土）13時半～16時半（受付13時）

場 所：京都大学 本部構内 総合研究2号館1階 教育学部 第一講義室

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/

（上記地図34番の建物、北側1階。建物には、北側入り口からお入りください。）

アクセス：最寄りのバス停「百万遍」

地下鉄今出川駅・京阪出町柳駅より市バス201番

阪急河原町駅より市バス201番

京都駅より市バス17番・206番 など。

※詳細は、次のウェブサイトをご確認ください。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/>

講演者：次橋 秀樹氏（京都大学大学院教育学研究科・博士後期課程・大学院生）

「日本における入試改革動向と国際バカロレアの可能性」

細尾 萌子氏（立命館大学・准教授）

「フランスの高校改革と大学入試改革—高校の内申点重視の功罪—」

南部 広孝氏（京都大学大学院教育学研究科・教授）

「東アジア諸国における大学入試改革の動向」

趣 旨：日本においては、少子化が本格化し、大学全入時代に突入する中で、現在、急ピッチで大学入試の改革が進められている。その中では、2021年からの大学入学共通テストの導入、各大学におけるAO入試・推薦入試の拡大などを通して、多面的・多角的な評価の実現が目指されている。この研究集会では、日本の改革動向を整理するとともに、東アジア諸国やフランスにおける大学入試改革、ならびに国際バカロレアのシステムや内容を検討し、大学入試のあり方を考えたい。

司 会：田中耕治（佛教大学）、石井英真（京都大学）

挨拶：田中耕治（日本教育学会近畿地区理事／佛教大学教授／京都大学名誉教授）

主 催：日本教育学会近畿地区

（担当：日本教育学会近畿地区理事・田中耕治〔佛教大学〕／同・西岡加名恵〔京都大学〕）

後 援：京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

照 会 先：西岡加名恵（nishioka.kanae.2v@kyoto-u.ac.jp）

備 考：どなたでも自由に参加できます（事前申し込み不要／参加費無料）。

2018年5月12日(土)
日本教育学会研究集会

東アジア諸国における 大学入試改革の動向

京都大学大学院教育学研究科
南部 広孝

1

内 容

1. はじめに
2. 韓国及び台湾の大学入試制度
3. 中国の大学入試制度
4. まとめ

2

1-1. はじめにー東アジア諸国の共通性

- 近代国家の形成過程における教育制度の整備
→教育＝社会的上昇を図る手段
- 激しい受験競争の存在
- 公平性の重視、強調
→学力筆記試験に対する信頼
→全国型学力試験の実施

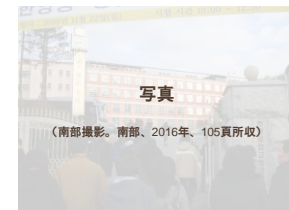


写真
(南部撮影。南部、2016年、105頁所収)
受験に向かう高校生(韓国)

4

1. はじめに

1. はじめに
2. 韓国及び台湾の大学入試制度
3. 中国の大学入試制度
4. まとめ

3

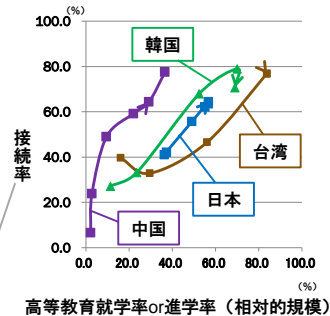
1-1. はじめにー東アジア諸国の共通性 (続)

➤ 進学率の急激な上昇 (南部、2016年、152頁、図5-1改変)

(1980年→2013年、中国と
日本は2016年を追加)

多様化改革の
必要性和可能性

後期中等教育修了者に対する
高等教育入学者の比率



5

1-2. はじめにー制度の変容

➤ 大学入試制度の変容

相対的に画一的な (統制された) 大学入学者選抜制度

← 社会的変化

↓

← 高等教育の量的拡大、高等教育改革

(管理体制の変化、大学の運営
自主権の拡大、...)

多様な 選抜方法を認める大学入学者選抜制度

→ 各大学における 多様な 選抜方法の採用

6

1-3. はじめに

➤ 本報告の目的

中国を中心に東アジア諸国における大学
入試制度の基本的枠組みと改革の方向性につ
いて検討すること。



7

1-3. はじめにー考察の対象

➤ 各国の高等教育機関

	機関の種類
日本	大学、短期大学
韓国	大学 (大学、産業大学、教育大学、専門大学、放送通信大学、技術大学)
台湾	普通高等教育機関、高等職業教育機関 <大学、学院、専科學校>
中国	普通高等教育機関、成人高等教育機関、 軍事高等教育機関 <大学、学院、専科學校>

8

2. 韓国及び台湾の大学入試制度

1. はじめに
2. 韓国及び台湾の大学入試制度
3. 中国の大学入試制度
4. まとめ

9

2-1-1. 韓国の大学入試の基本的枠組み

- 1969年以降全国的な学力試験を実施
大学入学予備検査＋大学本検査
- 1980年本検査廃止 ※同時に塾や家庭教師の禁止
→ 予備検査＋高校の内申成績
(多くの大学は70%、30%で合算)
- 1994年大学修学能力試験の導入、本検査復活

10

2-1-1. 韓国の大学入試の基本的枠組み (続)

- 2002年本検査再度全面廃止
(国公立では1997年から)
- 現行制度
大学修学能力試験
＋「総合学生生活記録簿」
高校での学習成績、教科外活動(社会活動、
奉仕活動、受賞経歴など)
(＋面接、論述試験)

11

2-1-1. 韓国の大学入試の基本的枠組み (続)

- 面接＝深層面接：知識、思考能力、質問への対応能力を測定
(一般的なパターン)
(1)あらかじめ用意した問題テーマの中から1つを受験者に提示する
(2)受験者には30分の時間が与えられる
(3)面接では問題の解決法を10分間で説明させ、その後は面接官と受験者との質疑応答

12

2-1-2. 韓国の「多様な」選抜方法

➤ 「特別選考」（1994年導入）

特異な才能を持つ生徒、社会的に恵まれない層の生徒を対象とし、**教科学力以外の要素を取り入れ、多様な評価**とルートを通じて選抜

例）農・漁村地域、特別支援教育対象者、在外韓国人、外国人、職業高校系の生徒、特性化高校、校長推薦、国家独立貢献者の子孫、少年少女世帯主（保護者のいない生徒）、特別の能力を持つ者など

- ・ 2005年時点で入学者総数の36.6%がこのルートで入学（韓国全体で）

13

2-1-2. 韓国の「多様な」選抜方法（続）

➤ ソウル大学の「地域均衡選抜」

（2005年導入）

- ・ 「特別選考」の一種
- ・ **入学者が特定の高校に偏らないよう**、教育環境に恵まれない地域の生徒でも一定の水準に達していれば、生活態度、学業背景、潜在能力などを**総合的に評価**することによって同大学への入学機会を与えることが目的

14

2-1-2. 韓国の「多様な」選抜方法（続）

➤ ソウル大学「地域均衡選抜」（続）

- ・ **全国の高校から1～2名の推薦**を受け、**総合学生生活記録簿の審査**で第1次審査を行った後、その合格者について**自己紹介書、推薦状や各種証明書などの書類審査**を行って最終合格者を決定

- ・ 2012年度入試では全募集定員の24%をこの選抜に割り当て

15

2-1-2. 韓国の「多様な」選抜方法（続）

➤ 「入学査定官」制度（2007年導入）

- ・ 年間を通じて大学入試関連業務を遂行する入学査定官が**多様な試験資料を審査、学生の潜在力及び素質を評価**し、入学可否を決定
- ・ 制度導入の背景
 - ①従来の**点数中心主義**が中等教育の非正常化や校外教育の助長、生徒の人格や主体性の育成の困難を生んだことに対する反省
 - ②点数は少し低くても主体的に学ぶことのできる学生を選ぶことによる**大学教育改善**への期待

16

2-1-2. 韓国の「多様な」選抜方法 (続)

➤ 「入学査定官」制度 (続)

- ・ 2007年度入試では10大学が支援を受けて実施し、2012年度入試では支援を受ける大学が66大学に増加
- ・ 2012年度入試で43,138人がこの制度を通じて選抜 (韓国全体で)

(山本、2014年、106頁)

・ 選抜過程

①事前公示 (募集要項の公表) → ②書類審査 → ③深層面接、討論 (1泊2日の合宿などを行う場合もある) → ④委員会による最終選抜

17

2-1-2. 韓国の「多様な」選抜方法

➤ 「入学査定官」制度 (続)

・ 選抜要素

- ①学生の特性 (思考力、適性及び能力、人間性、興味、態度、潜在力、将来の成長可能性、専攻への適応可能性など)
- ②大学及び募集専攻との適合性 (建学理念、学科の特性など)
- ③教育環境 (家庭環境、教育条件、高等学校のカリキュラムの特性など)

(趙、2010年、20頁)

18

2-1-2. 韓国の「多様な」選抜方法 (続)

➤ 「入学査定官」制度 (続)

- ・ 合否の決定 (梨花女子大学の例)
合否を決定する委員会 (全学入試委員会) には入学査定官は参加せず、全学部ではないが多くの学部から教員が委員として関わっている。ここで全学レベルでの合格者原案が作成され、最終的にはそれを各学部の教授会で承認するという手順をふむ。

19

2-1-2. 韓国の「多様な」選抜方法 (続)

➤ 「入学査定官」制度 (続)

- ・ 入学査定官 ※国の委託による研修
碩士以上の学位 プログラムあり

+

- ①教育学的背景を有していること、②教育職の経験を有すること、③コンピュータと統計分析の能力を有すること、のいずれか

- ・ 入学査定官の身分は研究員で、契約制 (任期は2年。再任可)。業務は、①入試の開発・研究と、②選抜における書類審査など実際の評価 (梨花女子大学)

20

2-2-1. 台湾の大学入試の基本的枠組み

➤ 連合入学試験による連合募集

1954年導入 → 2002年廃止

➤ 現行制度

学科能力テスト＋指定科目試験

ともに全国型学力試験

組み合わせ方は（前者の試験を用いないことも含めて）大学（募集単位）が決定

21

2-2-1. 台湾の大学入試の基本的枠組み（続）

➤ 学科能力テスト

高校2年生までの学習内容を出題範囲とし、
受験生はすべての科目を受験
国語、英語、数学、社会、自然

➤ 指定科目試験

高校段階のすべての学習内容が出題範囲であり、
志望する募集単位が求める科目を受験
国語、英語、数学（甲、乙）、歴史、地理、
公民・社会、物理、化学、生物

22

2-2-1. 台湾の大学入試の基本的枠組み（続）

➤ 学科能力テストにおける成績水準

※成績分布を16に分割したうえで段階を表示し、
以下の基準で条件を設定

基準	説明
「頂標」	成績下位から88%目の受験者が属するグループ
「前標」	成績下位から75%目の受験者が属するグループ
「均標」	成績下位から50%目の受験者が属するグループ
「後標」	成績下位から25%目の受験者が属するグループ
「底標」	成績下位から12%目の受験者が属するグループ

23

2-2-2. 台湾の様子



学習塾



大学入試センター内

24

2-2-3. 台湾の「多様な」選抜方法

➤ 推薦入学、申請入学（学校推薦が不要）

1990年代に導入

学力試験のみに焦点をあてた**受験教育を是正**することや、学生が試験成績のみにではなく**自らの能力・適性・興味などにもとづいて進学先を決める**ようになることを期待



25

2-2-3. 台湾の「多様な」選抜方法（続）

➤ 推薦入学、申請入学（続）

第1段階 学科能力テスト

+

第2段階 口頭試験・面接、提出資料の審査、個別の学科試験、小論文など

面接試験：個人に関する問題、専門分野に関する問題、時事問題、思考力をみる問題、常識問題 など

※面接における録画や録音、筆記記録の保存

26

2-2-3. 台湾の「多様な」選抜方法（続）

➤ 申請入学→「個人申請」（2004年～）

第2段階における配点比率（2012年）

パターン	「個人申請」	学科能力テスト、口述試験・面接試験、提出資料の審査のそれぞれについて、33%を超える比率が割り当てられていれば「+」、そうでなければ「-」を与えて作成。
I型	++-	317 (32.3%)
II型	+ - +	4 (0.4%)
III型	+ - -	477 (48.7%)
IV型	- + +	51 (5.2%)
V型	- + -	123 (12.6%)
VI型	- - +	8 (0.8%)

（南部、2016年、72頁）

27

2-2-3. 台湾の「多様な」選抜方法（続）

➤ 「繁星計画」（2007年導入）

有名大学の入学者が特定の高校に偏っている現状を改め、学生の出身に関して**都市部と地方の格差を縮小**させること、**高校教育を正常なものにすること**、限られた有名進学校への集中をなくすことを通じて**高校が地域社会に根ざすもの**になることが目的

※33大学が実施（2010年度）

国立台湾大学、国立清華大学、国立成功大学、国立交通大学、長庚大学、…

28

2-2-3. 台湾の「多様な」選抜方法（続）

➤ 「繁星計画」（続）

・ 学生募集の原則

- (1) 各大学はこの方法で募集する学生の定員を最大3つの学群に分けることが可。
- (2) 1つの高級中学から推薦できる生徒は学群ごとに1名のみ。
- (3) 1つの高級中学から合格できるのは大学ごとに1名のみ。

29

2-2-3. 台湾の「多様な」選抜方法（続）

➤ 「繁星計画」（続）

・ 選抜手順

- ① 学科能力テストの成績に関してあらかじめ設定されている基準を満たしているかどうかを判定

【例】	国語	英語	数学	自然	社会	総合
哲学系	前	頂	前	—	—	前
獣医学系	均	均	均	均	均	均
会計学系	—	—	—	—	—	頂

30

2-2-3. 台湾の「多様な」選抜方法（続）

➤ 「繁星計画」（続）

・ 選抜手順

- ② 高級中学1年次及び2年次の各学期学業成績の平均の校内順位の百分比が小さい者を優先的に合格

例）1学年100名の学校で第1位だった生徒（上位1％）と、別の1学年200名の学校で第1位だった生徒（上位0.5％）が同一の大学・学群に志願した場合には、後者が優先的に合格

31

2-2-3. 台湾の「多様な」選抜方法（続）

➤ 「繁星推薦」（2011年～）←「繁星計画」

- ・ 2012年度には68大学が実施
- ・ 各大学が在学時の成績（校内順位）に対して基準を設定し（「上位20％以内」など）、その基準を満たした受験者は在籍する学校の推薦を受け、学科能力テストの成績について設定された基準に従って合否が決定される。

32

3. 中国の大学入試制度

1. はじめに
2. 韓国及び台湾の大学入試制度
3. 中国の大学入試制度
4. まとめ

33

3-1. 大学入試の基本的枠組み (続)

- 全国統一大学入学試験による選抜

(b)試験科目：規定の科目 → 「3 + x」

国語、数学、外国語

「文理総合」、「文科総合」、「理科総合」、その他の個別科目など

(c)出題：全国統一 → 一部省では独自に出題

- 多くはこの試験の得点だけで合否を決定

35

3-1. 大学入試の基本的枠組み

- 全国統一大学入学試験（1952年導入）

(a)受験資格

- ① 4つの基本原則を擁護し、祖国を愛し、法規を遵守し、社会主義現代化建設のために刻苦奮闘する決心をしている
- ② 高級中学を卒業するかそれと同等の学力を有している
- ③ 健康である
- ④ 未婚で基本的に25歳以下（→2001年に廃止）

34

3-1. 大学入試の基本的枠組み (続)

- 全国統一大学入学試験による選抜 (続)

(d)学生募集の単位

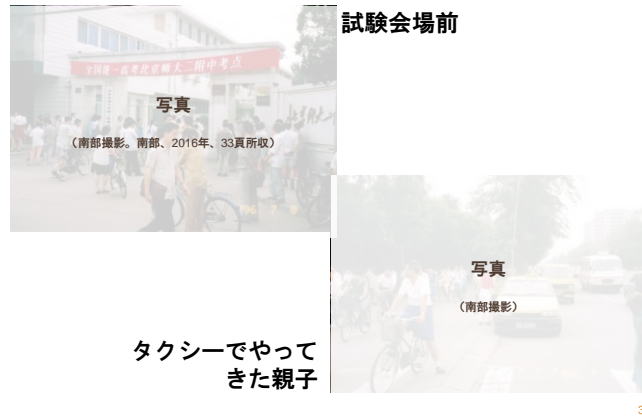
各大学の専攻ごとに各省・直轄市・自治区へ
割り振られている

→ 受験生はどの大学でも自由に選べるわけではない

→ 受験をめぐる競争は省が単位
＝合格最低点が省によって異なる

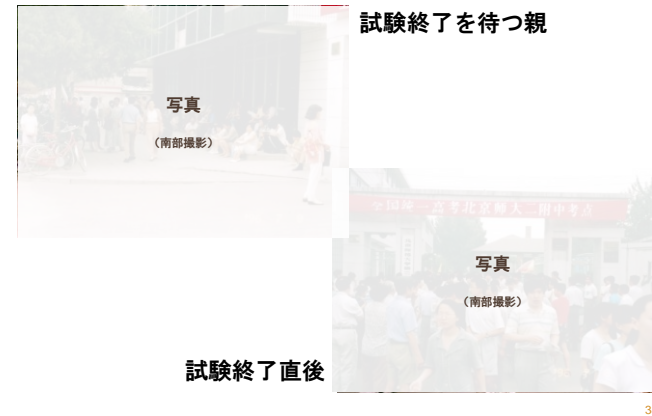
36

3-2. 試験当日の様子



37

3-2. 試験当日の様子



38

3-3. 中国の「多様な」選抜方法

➤ 推薦入試制度

- ・ 1980年代に本格導入
- ・ 2000年前後には学力試験を実施
- ↓
- ・ 現在は、厳格な推薦資格を設定（科学オリンピック受賞など）＋学力試験・面接試験など
- ・ 合格者は全国統一大学入学試験を受ける必要はない

39

3-3. 中国の「多様な」選抜方法 (続)

➤ 「自主学生募集」制度（2003年～）

- ・ 各大学が事前に合格候補者を特定し、全国統一大学入学試験で一定の基準をクリアすれば優先的に合格
- ・ 目的：
 - ① 学力試験を含む大学の多様な評価にもとづいた合格者の決定
 - ② 大学の運営自主権のいっそうの拡大

40

3-3. 中国の「多様な」選抜方法 (続)

➤ 「自主学生募集」制度 (続)

- ・ 出願条件 (例) : **大学ごとに多様な条件設定**

科学オリンピック受賞者

全国創造英語作文コンクール受賞者

全国中等学校学生新概念作文コンクール受賞者

「三好学生」、優秀学生幹部など

高級中学段階の成績上位者

41

3-3. 中国の「多様な」選抜方法 (続)

➤ 「自主学生募集」制度 (続)

- ・ 校長推薦、自己推薦 (校長推薦不要)

・ 第1次審査 (書類審査)

第2次審査 (筆記試験+面接、実技)

※複数大学による連合試験の実施

※審査結果に対する異議申し立て期間を設定

42

3-3. 中国の「多様な」選抜方法 (続)

➤ 「自主学生募集」制度 (続)

- ・ 審査通過者は合格候補者として、所在省で全国統一大学入学試験に参加

↓

- ・ 大学が提示した基準を超えれば合格
「同一グループの合格最低点」
一定の加算点を与えたうえで他の志願者とあわせて決定
事前選抜の結果に応じて基準を複数設定する場合もあり

43

3-3. 中国の「多様な」選抜方法 (続)

➤ 「自主学生募集」制度 (続)

※68大学が実施 (2008年度) 定員5%程度まで

北京大学、清華大学、北京師範大学、復旦大学、南京大学、...

※2014年度にはこの方法で全国的に学生募集を行う大学は78大学

+所在省のみで自主学生募集を行う大学もある

44

3-3. 中国の「多様な」選抜方法 (続)

- 「自主学生募集」制度 (続)
 - ・ 2015年度から改革
 - ・ 書類審査 (高級中学在学時の成績を含む) にもとづく第1次試験合格者を4月末までに公表 (全国統一大学入学試験に参加)
 - ・ 第2次試験 (筆記試験、面接試験、実験、実技など) を6月中旬に実施 → 合否決定

45

3-4. 近年の改革に向けた取り組み

- 「国家中長期教育改革・発展計画要綱 (2010－2020年)」 (2010年)
 - ・ 試験及び学生募集の改革を突破口として、一度の試験が一生を決めることの弊害を克服し、素質教育の実施と創造型人材の養成を推進する。
 - ・ 試験の内容と形式の改革を進め、**総合的な資質と能力の考査**に重点を置く。
 - ・ **統一入学試験**を基本方式とし、**学業水準試験**と**総合的な資質の評価**を結びつける。

46

3-4. 近年の改革に向けた取り組み

- 上海市の改革
 - ・ 2018年の本科課程入学のための試験成績
全国統一大学入学試験の成績
国語、数学、外国語 (各科目150点満点)
 - ※外国語にはヒアリング、スピーキングを含む
 - ※外国語は2度試験を実施
 - 普通高級中学学業水準試験の成績
受験者が選択した3科目 (各科目70点満点)

47

3-4. 近年の改革に向けた取り組み (続)

- 上海市の改革
 - ・ 普通高級中学の生徒の**総合資質評価**に関する情報を提供、この情報の利用方法は各大学が決定
 - 生徒の自己紹介、軍事訓練・社会実践等の状況、基礎科目の成績、発展型・研究型科目の学習経歴、研究型学習のテーマ・報告、ボランティアへの参加、体育芸術活動などを含む

48

3-4. 近年の改革に向けた取り組み (続)

- 復旦大学における上海出身学生の募集
 - ・ 全国統一大学入学試験の成績にもとづき、各募集単位における募集人数の1.5倍を対象に面接試験を実施
 - ※面接では5名の専門家と1対1の面接(各15分)
 - ※面接の際、総合資質評価の情報を参照
 - ・ 総合点＝全国統一大学入学試験成績(660点を600点に換算)＋面接試験(300点)＋普通高級中学学業水準試験の成績(10科目、100点)

49

4. まとめ

1. はじめに
2. 韓国及び台湾の大学入試制度
3. 中国の大学入試制度
4. まとめ

50

4-1. まとめ

- 東アジア諸国における大学入試改革
 - ①筆記試験中心の選抜から
多様な指標を用いた選抜へ
 推薦、面接、高校調査書、各種資料...
 - ②教科学力中心の選抜から
(広義の)学力に加えて意欲や適性、目的意識等も含めて判定する選抜へ

51

4-1. まとめ (続)

- 東アジア諸国における大学入試改革
 - ③政府が主導して進む制度改革
 新たな制度の**漸進的な**導入、拡大
 新しい選抜方法を支える下位制度の整備
 - ④有力大学における入試多様化状況
 新たな制度は、**有力大学による先行導入**
 を政府が認可、**積極的な多様化**

52

4-1.まとめ (続)

➤ 東アジア諸国における大学入試改革

⑤地域間での教育格差に対する配慮

⑥公平性の担保

(韓国：入学査定官の専門職性の向上)

台湾：面接等における録音、録画等の保存

中国：異議申し立て期間の設定

53

引用・参考文献

石井光夫『東アジア諸国における大学入試多様化に関する研究』（平成17～19年度科学研究費補助金（基盤研究(C)、課題番号17530548）研究成果報告書 研究代表者：石井光夫）東北大学高等教育開発推進センター、2008年。

趙卿我「韓国における『入学査定官制（Admissions Officer System）』の実態と課題」『教育方法の探究』第13号、2010年、17～24頁。

南部広孝『東アジア諸国・地域における大学入学者選抜制度の比較研究』（平成19年度～平成21年度科学研究費補助金（基盤研究(C)、課題番号19530757）研究成果報告書 研究代表者：南部広孝）京都大学大学院教育学研究科、2010年。

南部広孝『東アジアの大学・大学院入学者選抜制度の比較—中国・台湾・韓国・日本—』東信堂、2016年。

山本以和子「韓国大学入学者選抜の変容—入学査定官導入後の展開状況」『大学入試研究ジャーナル』No.24、全国大学入学者選抜研究連絡協議会、2014年、105～111頁。

54